

学習指導計画

岡崎西高等学校

教科(科目)	数学Ⅱ		授業者	藤田 和己
日時	平成28年7月15日(金) 第1限		対象・場所	2年3,4組(28名)・多目的教室
単元	第5章指数関数と対数関数			
本時の位置	三角関数、指数関数、対数関数を含んだ方程式の複合問題の作成			
論理的思考の観点	① 規則, 定義, 条件等を理解し適用する。 ② 必要な情報を抽出し, 分析する。 ④ 事象の関係性について洞察する。 ⑥ 議論や論証の構造を判断する。			
指導計画・本時の過程	導入	1 本時の班別活動で作成する問題の条件、作成手順を理解する。(3分) 2 班ごとに班員の役割分担を決める。(2分)		
	展開	1 各自が問題を作成し、フローチャートに解法の手順を記入する。(5分) 2 他の班員に、作成した問題と解法の手順を説明する。(10分) 3 班で話し合い、1つの問題を作成し、解法の手順をフローチャートにする。作成した問題の解答を作成する。(25分)		
	まとめ	1 次時の発表がスムーズに行えるよう工夫する。 2 次時に各班の代表者が発表し、互いに評価することを伝える。(5分)		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・指示された条件を満たす方程式を作成し、解法の手順をフローチャートに記入できた。 ・自分が作成した問題と解法の手順を論理的に説明できた。 ・班員同士の話し合いに積極的に参加し、班としての結果をまとめることができた。 			
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が作成した問題と解法をうまく説明できない生徒が多かった。説明の仕方を教える機会を増やす必要がある。 ・基本事項の理解に不安な生徒は、話し合いに参加できない状態が見られた。事前に各自の問題を作成させておくことで、班員同士の話し合いの時間を十分確保したい。 ・班別の話し合いに積極的に参加したかどうかを自己評価させるべきであった。 			

学習指導計画

岡崎西高等学校

教科(科目)	数学Ⅱ		授業者	藤田 和己
日時	平成28年7月19日(火) 第2限		対象・場所	2年3,4組(28名)・多目的教室
単元 本時の位置	第5章指数関数と対数関数 三角関数、指数関数、対数関数を含んだ方程式の複合問題の作成			
論理的思考 の観点	③ 趣旨や主張を把握し、評価する。 ④ 事象の関係性について洞察する。 ⑥ 議論や論証の構造を判断する。			
指導 計画 ・ 本 時 の 過 程	導入	1 本時の活動内容を確認する。 2 前時の班別活動で作成した問題とフローチャート、解答を確認する。(5分)		
	展開	1 各班の発表者が作成した問題、フローチャート、解答を発表する。発表者以外は、各班の発表を評価基準に沿って評価する。(5分×7グループ) 2 発表内容等について、指導者から指導助言を与える。(5分)		
	まとめ	1 各自が自分自身の取り組みについて振り返り、自己評価する。(5分)		
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・各班の発表を評価基準に沿って評価することができた。 ・自分自身の活動を振り返り、評価基準に沿って自己評価することができた。 			
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターで広い範囲を大きくはっきり投影することができなかった。 ・それぞれの班のパフォーマンスの評価基準をあらかじめ示して、班で発表の準備をする時間をもっと確保すべきだった。 ・うまく説明できない発表者がいたが、経験することで向上するので、発表する機会を継続していきたい。 			